

第2回 津波・雪崩・洪水エネルギー減衰国際イノベーション・ワークショップを開催しました (International Innovation Workshop on Tsunami, Snow Avalanche and Flash Flood Energy Dissipation) (2014/10/20-21)

テーマ：エネルギー減衰，津波被害軽減，異分野議論

場 所：Majestic Congress Centre Chamonix, フランス

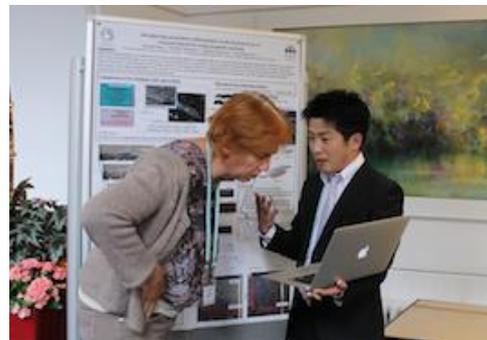
URL：http://www.elyt-lab.com/pdf_elytlab/2014/Flyer-TsunamiWSp1&4.pdf

10月20日～21日に、フランスのシャモニーにて、第2回津波・雪崩・洪水エネルギー減衰に関する国際イノベーションワークショップを開催し、当研究所の今村文彦教授（所長，災害リスク研究部門）が実行委員長を務めました（実行委員長：今村文彦，事務局長：庄子哲雄教授，Jean-Yves CAVAILLE 教授，事務局：尾形晶子氏）。

本ワークショップは、平成24年開催の第1回津波ワークショップに引き続き開催され、津波、雪崩、洪水などの災害に対する様々な対策について議論することを目的とし、津波専門家だけでなく、海洋学、地震・津波工学、構造力学、材料科学、数学、地理学など、様々な分野の専門家が集まり、学際的な議論を実施いたしました。

参加は、リヨン大学、INSA-Lyon、カリフォルニア州立大学 Chico 校、地元シャモニー市防災担当などの他、日本国内より、東北大学に加えて福島大学、不動テトラなどの専門家約40名が研究発表を行い、エネルギー減衰、被害軽減に向けての議論を行いました。

今回より、同様なアプローチが有効であると考えられる雪崩並びに洪水も対象に含め、特にエネルギー散逸の具体化を目指して、流動体と構造体の成のシミュレーション並びに理論、さらには現在の対策方法やレスキュー方法について議論を深めました。今回のワークショップの特徴として、初めに自然と人間・社会、哲学や思想について議論し、その後、自然やその災害に対峙または調和する考えをレビューしたことがあげられます。



Majestic Congress Centre での会議の様子



WS 参加者の集合写真



WS の紹介パンフレット

文責：今村文彦（災害リスク研究部門）